

皆様の御愛顧ありがとうございます!!

～コミュタン福島便り～

●コミュタン福島来館実績

福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」は、放射線に関する正確な理解を促進し、また、福島県の現状を伝えることを目的とした展示室などがある施設です。

オープン以降、主に御家族連れのご来館者や小学校を始めとした学校団体、一般団体視察など、多くの方々に御利用いただき、これまでに230,947名の方に御来館いただきました。

コミュタン福島では、より多くの方がコミュタン福島の展示や体験を通して、“放射線について学び”、“福島の今を知り”、そして“未来を描く”ことができるよう、魅力ある企画運営を心がけてまいりますので、皆様の変わらぬ御愛顧を引き続きよろしくお願い致します。

表1 コミュタン福島来館者数

年 度	来館者数
平成28年度(H28.7.21～)	51,969人
平成29年度	99,139人
平成30年度(H30.12.28時点)	79,839人
合 計	230,947人

表2 コミュタン福島団体見学実績

種別	小学校	中学校	高校	大学・専門学校	一般団体
平成28年度(H28.7.21～)	195	16	7	12	278
平成29年度	274	19	25	34	412

※同一団体が複数回来館した場合、実績は来館回数を計上しています。

●コミュタン福島 秋フェス開催!!

平成30年10月14日(日)に循環型社会への取組を啓発するイベント「コミュタン福島 秋フェス」を開催しました。

ホールでは、打楽器奏者「山口とも」さんによる「ともものぐらくた音楽会」を開催。廃品から作ったオリジナル楽器でのユニークな演奏やパフォーマンスの後、入場時に配付された新聞紙やガラタ楽器の「ペッカー」を使用した全員での合奏を行い、大いに盛り上がりしました。

また、駐車場では、MOTTAINAIフリーマーケット、会議室では、売るのも買うのも子どもだけのMOTTAINAIキッズフリーマーケットを開催しました。キッズフリーマーケットでは、ほぼ全員が初出店で、最初は恥ずかしがってなかなか声がかけられないお子さんもありましたが、最後にはスタッフや他のお子さんの声に発奮されて盛んに声を出し、賑やかな開催となりました。



ともものぐらくた音楽会



MOTTAINAIキッズフリーマーケット

●コミュタン福島来館者20万人!!

平成30年9月9日(日)に来館者20万人を記念し、セレモニーを開催しました。

記念すべき20万人目のお客様は、小野町からお越しの白石 陽(しらいし みなみ(小5))さん。当日に開催中の理科自由研究作品展示会の見学に来館されたとのことでした。

セレモニーでは、くす玉割りを行い、最後に副所長の大山一浩より、認定証と記念品として家庭用プラネタリウムを贈呈しました。



化学物質リスクコミュニケーション推進セミナーを開催しました!!

化学物質による環境リスクの低減に向けたリスクコミュニケーションの普及・促進を図ることを目的とした、化学物質リスクコミュニケーション推進セミナーを平成30年12月7日(金)に開催し、県内事業者や県関係機関職員など92名に参加いただきました。化学物質アドバイザー河合直樹氏による、今後の化学物質管理やリスクコミュニケーションについての講演と、南相馬市の大内新興化学工業株式会社原町工場の山本善男氏による取組事例発表を行いました。参加者の方々からは、「リスクコミュニケーションの段階的な運用について、今後の取組の参考となった。」「実際の事業所の取組を知ることができた。」という感想が寄せられました。



講演の様子



事例発表の様子

講演 「これからの化学物質管理」
～リスクアセスメントとリスクコミュニケーション～

講師 化学物質アドバイザー 河合 直樹 氏

事例発表 「化学工場における
リスクコミュニケーションの取組について」

発表者 大内新興化学工業株式会社原町工場
生産部次長兼安全環境課長 山本 善男 氏

IAEA協力プロジェクト2017年までの5年間の報告書について

福島県では、国際原子力機関(IAEA)との間で、「放射線モニタリング」及び「除染」の分野において協力プロジェクトを行っており、このたび2017年までの5年間の成果を取りまとめました。右記のURLにて閲覧できますので、是非ご覧ください。



福島県とIAEAとの間の協力に関する2017年までの最終報告書ダウンロード

<https://www.fukushima-kankyosozo.jp/iaeasummary2017.html>



研究紹介

環境創造センターでは、福島県の環境回復・創造に向けて「放射線計測」、「除染」、「廃棄物」、「環境動態」、「環境創造」の5つのグループに分かれて、日々研究を行っています。今回は除染グループの研究について紹介します。

除染で発生した土を安全に保管するために（研究部 除染グループ）

福島県内では、平成23年3月に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の汚染からの環境回復のため、生活圏を中心とした除染が行われました。このうち、市町村が除染実施計画を作成し除染事業を進める地域では、平成30年3月までに面的な除染が全て終了しました。

除染により発生した除去土壌等は、除染を実施した現場や仮置場で一時保管された後、中間貯蔵施設へ輸送・保管し、福島県外で最終処分することとされています。除去土壌等の一時保管が継続されている仮置場がある一方、中間貯蔵施設への輸送量は年々増加しており、保管する全ての除去土壌等の輸送が終了した仮置場も出てきています。



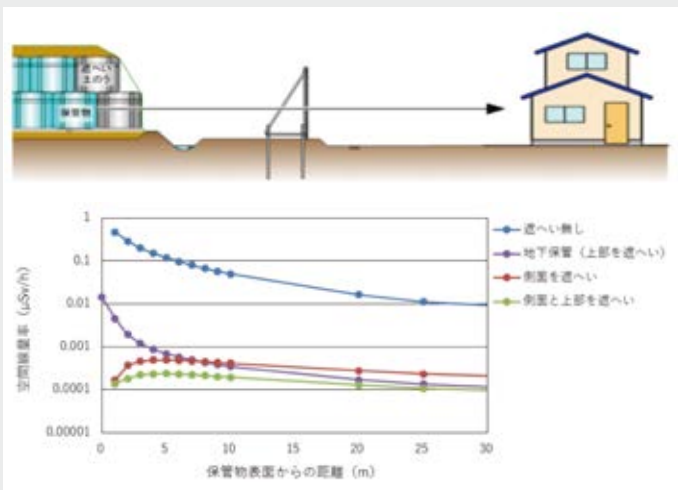
現地調査や試験の様子



当グループでは、除染を実施した現場や仮置場において安全に除去土壌等を保管するため、放射線による周囲への影響についての安全性評価や資材の耐久性試験、除去土壌等の輸送が終了した仮置場跡地の放射線量の状況に関する調査等を行っています。

これまでに、仮置場の周囲に対する除去土壌等からの放射線の影響が小さいことや、除去土壌等を入れて保管している容器(大型土のう袋等)の耐久性には現状問題がないこと、仮置場跡地における放射線量が周辺と同程度であることなどを確認しています。また、これらの結果は、除去土壌等の安全な保管に役立つ情報として、仮置場を管理する市町村や関係機関とも情報共有しています。

環境創造センターで開催しているイベントでは、研究員が除染の内容や仮置場の構造等について説明しておりますので、ぜひ一度、環境創造センターへ足を運んでみてください。



仮置場の安全性評価結果の例



イベントの様子

福島県環境創造センター

福島県の環境回復・創造に向けたモニタリング、調査・研究、情報収集・発信、教育・研修・交流の業務を行っています。
環境創造センターホームページより、県内市町村の空間線量、大気環境等のモニタリング情報を御覧いただけます。

福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」**入場無料**

TEL.0247-61-5721 FAX.0247-61-5727

○閉館時間 9:00～17:00

○休館日 毎週月曜(月曜が祝日の場合、翌平日)12月29日～1月3日

○売店、キッズスペース、授乳室、和室(飲食可)もあります。

ホームページ <https://com-fukushima.jp/>

車をご利用の場合 磐越自動車道船引三春ICより約5分

電車をご利用の場合 JR磐越東線三春駅より車で約12分

三春町営バスをご利用の場合 三春駅～環境創造センター(コミュタン福島)へ

コミュタン福島をご利用の方はバス料金無料 年末年始(12月31日～1月3日)を除き毎日(1日4便)運行



田村西部工業団地内、ドームが目印です。